

SNOW WONDER LAND COLORADO

26のスキーエリアが ひしめき合う スノーワンダーランド、 コロラド

恵まれた山岳景観と豊富な積雪で世界中から訪れる人が絶えないコロラド。ベースの標高が高いゆえに雪質も良く、降雪量も安定しているため11月からオープンするリゾートも多い。来季は誰よりも早く、コロラドからシーズンをスタートさせてみませんか？



取材協力=コロラド州観光局

Cooperation_Colorado Tourism Office

スキーヤー=岡部哲也、永島秀之、寺田シュリ
Skier_Tetsuya OKABE, Hideyuki NAGASHIMA, Shuri TERADA

写真=菅沼浩、編集部

Photo_Hiroshi SUGANUMA (Vail, Aspen),

Ski journal Editorial div. (Telluride, Crested Butte)

北アメリカ大陸の中西部には、東西から押し寄せた地球のパワーが集積し、土地全体を厚く隆起させた結果形成された、変化に富んだロッキー山脈がある。森林、湖、山稜、渓谷、急流、温泉、動植物……。アメリカを代表するナショナルパークがこの地域に集中し、今も自然の驚異と美しさを私たちに教えてくれる。

「天と地がみごとにぶつかりあう土地、コロラド」。そのコピーが表わすように、標高3000mを超える高峰が1100座以上、4000m級は50座を越えるという事実には、今さらながらに驚かされる。

ヨーロッパのスキーリゾートが山間の狭い谷間に自然発生的に点在しているのに対し、アメリカのスキーリゾートはマスタープランを基に知的に計算された、巨大なテーマパークのような装いで私たちを迎え入れてくれる。

手つかずの土地に豊富な積雪、そこにヨーロッパのスキーリゾート文化を模倣しつつも、ダイナミックなコースレイアウトや徹底した顧客サービスなどを実現した独自のリゾートを作り上げ、現在はアメリカのオリジナリティ溢れるヴァカンス文化となって世界の人々に浸透している。カスターマーサービスの充実や演出において、アメリカのリゾートほど気持ち華やかにしてくれる場所はないだろう。26ものビッグな山岳リゾートを有するコロラドはまさしく、アメリカの誇るスキーカント



3	4	5
Daniel Bayer	Paul Morrison	Hal Williams
8	9	photo
Hal Williams	Birge Jones	
Daniel Bayer		



Illustration=Kenji KONO



みごとな景観、手つかずのパウダー、知られざるコロラドの秘宝、テルライド

近年、ふたたびコロラドに注目が集まるようになった理由として挙げられるのは、シーズン初頭から安定してオープンできる積雪の多さだろう。コロラドの玄関口、デンバーの標高は1609m。1マイルの標高を越えたところにあることから「マイル・ハイ・シティ」と呼ばれているが、1600mと言えは、日本のほとんどのスキー場の山頂の高さだ。コロラドのスキー場の多くが、ベースで標高2500mを越えており、山頂の標高が4000mを越えるところすらある。ロッキー山脈に降り積もる豊富な雪は、そのまま良質な形でコロラドのスキーリゾートに堆積されていくのだ。いずれこのスキー場も平均積雪量が7〜8mをキープしているという事実は、コロラドの大きなアドバンテージとなり、世界のスキーヤーの熱い視線を集めている。



ヴィクトリア調の落ち着いた街並みが印象深いテルライド

デンバーからおよそ6000*。コロラド州南西部の外れ、その先は行く手を山に阻まれた渓谷の奥深くにテルライドはある。

一歩街に踏み入れると、左手に赤煉瓦の古い三角屋根の建物が目に入る。ここは1886年に建てられた裁判所だ。その先には1895年に建設されたニューシエリダンホテルが並ぶ。このホテルはかつて鉱山として栄えたテルライドの足跡であり、リゾートとしての雰囲気象徴するランドマークとなっている。テルライドにはカラフルで清楚なヴィクトリア朝の雰囲気を感じ出した建物が点在し、歴史的な存在感と品性を備えた街という印象を受け

る。オールドバーやタウンホール、そして博物館、教会など、大西部アメリカの郷愁を感じさせる建物が現存し、今も訪れる人を楽しませてくれる。

谷に挟まれた街の背景には豊かな積雪を蓄えた山脈が連なる。この広大なエリアはコロラド州で唯一ヘリスキのオペレーションが許されたエリアであり、6回の滑走を保証する1日のプライベート料金は1350ドル。けっして安くはない料金であるにも関わらず予約はつねに満杯。本気でパウダーを求め人たちにとってテルライドは夢のような場所なのだ。

テルライドのレイアウトは実にユニークだ。街から無料のゴンドラが運行されており、山の中腹に開発されたマウンテンヴィレッジ（ホテル、レストラン、ショップなどが集まっている）と連結され、さらに巨大パーキングとも結びついている。ゴンドラが待ち時間のない無料シャトルバスの役割を果たしていると言えるだろう。ゴンドラは夜12時まで運行されているため、テルライドのアフタースキーを存分に楽しむことができる。

テルライドには隣接したローカル空港があり、全米から人々が訪れるが、日本からアクセスする場合はけっして条件の良い場所ではない。コロラドの中でももっとも美しい景観と恵まれた山岳スケールを持ち併せながら、この



MOUNTAIN FACTS 

シーズン=11月末~4月初旬
 平均積雪=7.84m
 山頂標高=4,021m
 ベース標高=2,870m
 初級=24%、中級=38%、上級=38%
 コース数=84
 最長コース=7.36km
 リフト総数=16基



コロラドの隠された秘宝

TELLURIDE

テルライド

565 Mountain Village Blvd.
 Telluride, CO 81435
visittelluride.com





遅くまで可動しているゴンドラのおかげで山の上でゆっくりディナーを楽しむことができる



上/ブラックアイアンボウルを滑るために尾根をハイクアップ
 中/あちこちに手つかずのバーンが待ちかまえている
 下/ゲレンデは長く、広く、フラットに整備されていて実に快適だ



パラセーリングを操り広大なコロラドの景色を楽しむ



右上のピークから滑り降りる猛者たちもいる

スキーリゾートの名があまり知られていない理由はそこにある。いわば、北米スキーリゾートが誇る、とっておきの奥座敷がテルライドであると考えるともらえれば良いだろう。

まずは高速リフトを2本乗り継いで標高3899呎のジュゼッピーズレストランへ。すでにここは富士山山頂(3776^{メートル})よりも高いはずなのに、それでも森林限界を超えていないから不思議である。周囲は360度雄大なコロラドの山々に囲まれ、思わず感嘆の声が出てしまう。みごとに圧雪された広大なロングコースとチャレンジャブルなコブだらけのコース、さらに非圧雪のパウダーバーンが次々と顔

人々が集う場所はウッディな雰囲気と溢れている。世の東西を問わず、木がもたらす安らぎは重要性を増している



を出す。しかし、テルライドの本当の持ち味はさらに奥に鎮座するブラックアイアンボウルにある。ひとたび新雪が降りると人々はスキー板を背に稜線をハイクアップ。ダイナマイトで雪崩コントロールされたシュートと、われ先にと新雪に飛び込んでいく。洗練とワイルドが融合したコロラドスキーの魅力がここに凝縮されている。

テレマークスキーヤーが集う聖地

CRESTED BUTTE

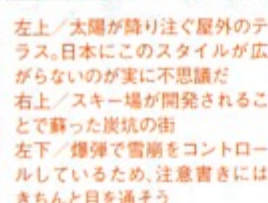
MOUNTAIN FACTS

シーズン=11月中旬~4月初旬
平均積雪=6.0m
山頂標高=3,989m
ベース標高=3,075m
初級=23%、中級=57%、上級=20%
コース数=121
最長コース=4.16km
リフト総数=15基

クレストッド・ビュート

PO Box 5700Mt. Crested Butte, CO 81225
skicb.com

CRESTED BUTTE
COLORADO



左上/太陽が降り注ぐ屋外のテラス。日本にこのスタイルが広がらないのが実に不思議だ
右上/スキー場が開発されることで蘇った炭坑の街
左下/弾で雪崩をコントロールしているため、注意書きにはきちんと目を通そう

テルライド同様にクレストッド・ビュートもまた鉱山の街。1860年から70年代にかけて石炭と銀の採掘で街が活気づいたものの、採掘が行き詰まると同時に街は廃れ、90年代になってスキー場開発が始まると同時に息を吹き返した。クレストッド・ビュートの街にはかつて荒くれ者たちが酒を酌み交わし、賭博を楽しんだホールが今も残り、一歩裏通りに入ると、炭坑時代の小さな家があるまま現存する。ま



るで西部開拓時代にタイムスリップしたような雰囲気だ。
スキーリゾートは街からおよそ300mほど離れた街を見下ろす高台にあり、リゾートの正面には、クレストッド・ビュートのシンボルとなる美しい三角錐のピークが雪をいただき、神々しい輝きを放って聳えている。

クレストッド・ビュートは、2億ドルをかけて最新のリフト、コース、スキーイン、スキーアウトができる宿泊施設、ヴィレッジタウンなどを完全にニューアルシ、2007年の夏に完成したばかり。スキーリゾートのベースにあるマウンテンスクウエアからは、フラットで中級者向けのレッドレディエクスプレスリフトと、急斜面が待ちかまえるシルバークイーンエクスプレスリフトが山に向かって伸びる。

クレストッド・ビュートのマップを見ると、中腹から上部はほとんどすべてがダブルブラックダイヤモンドばかり。ステイプマニアにとって笑いの止まらないスキー場である。「ガイド本には書かれてないけど、実際には70%が上級コースだよ」と地元のスキーヤーが笑って教えてくれる。一見シンプルなレイアウトに見えるものの、横へ伸びる斜面はほとんどが非圧雪なナチュラルバーン。未知のコースがあるからこちらに隠れており、パウダーが降ったときなどは、コースを知っている人ほど笑いが止まらなくなる。ガイドがついてくれたほうがずっと楽しめる



リゾートヴィレッジはさほど大きくはないものの、かえって居心地の良さを感じさせてくれる

クレストッド・ビュートにはこの地を愛するロコスキーヤーが多い



上/クレストッド・ビュートのシンボル「Peak」
中/テレマークのイベントに集う観客たち
下/圧雪されないナチュラルバーンがこの魅力!



スキー場の周辺にも滑りたくなる斜面が広がる



全米テレマーク・チャンピオンシップの一場面。あまりの急斜面に唖然……



これぞアメリカンピザ! いったい何人前だかわからない!



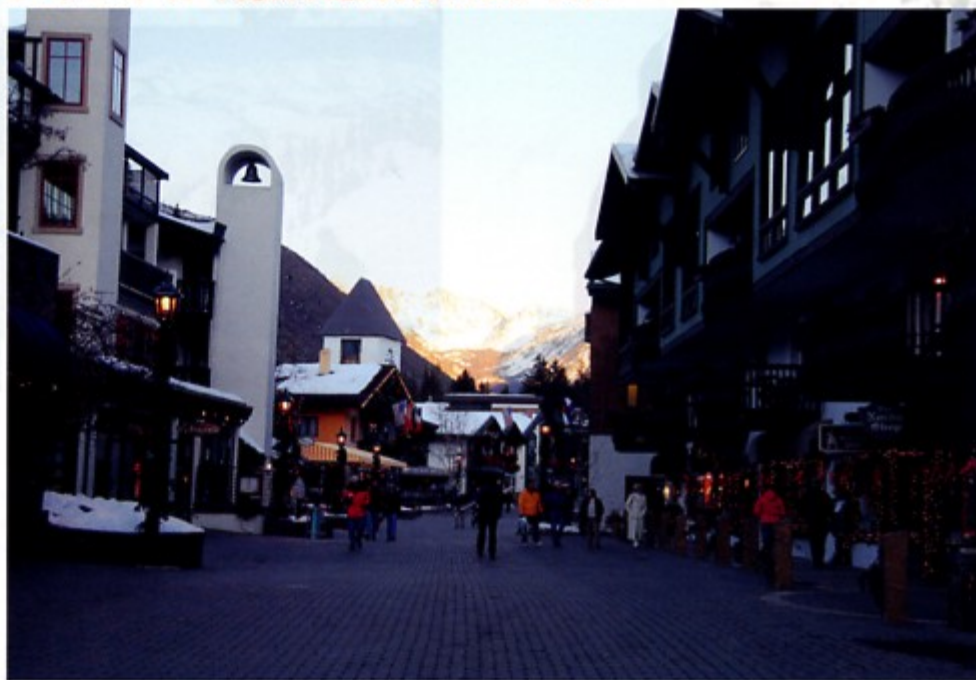
る山と言えるだろう。
自然の地形が剥き出しであるため飽きることがなく、ひと冬ここに籠もってスキーを楽しむローカルスキーヤーも多い。
クレストッド・ビュートはモダンテレマークスキーが新しいスタイルで生まれ変わった土地であり、テレマークカーにとって特別な響きを持つ場所である。このスキー場に一歩足を踏み入れると、かなりの数のテレマークカーに遭遇する。細板革靴でならした60〜70代の年配者も多く見られ、一方では地

元ハイスクールの子供たちもスタイリッシュな装いでテレマークスキーを楽しむ。周囲の山々を見渡すと、どこもかしこもたおやかな斜面が広がっており、テレマークスキーで分け入って滑るのに適した場所が多いのも、この地の特徴なのだ。クライミングギールを付けて山に分け入り、自分にしかない時間を体感することが、いかに幸せなものかを、この地の人々は知っているのかもしれない。どことなくレイジィで、ローカルで、居心地のいい場所それがクレストッド・ビュートだ。



1 / 標高が高くて雪質だけでなく、コース整備も良く滑りやすい 2 / ふたつあるベースのひとつ「ライオンズヘッド」のリフト乗り場 3 / バックボウルへの入り口。奥に見えるのがさらに奥にあるブルースカイベース 4 / 多彩なコースと広大なエリアに、自然とテンションが高くなる 5 / 午後はカフェでゆっくり過ごす人が多い 6 / この笑顔が満足度の高さを物語る

ヨーロッパのスキーリゾートを感じさせる趣があるヴェイルのリゾートタウン



MOUNTAIN FACTS

シーズン=11月中旬~4月中旬
 平均積雪=8.7m 山頂標高=3,794m
 ベース標高=2,663m
 初級=18%、中級=29%、上級=53%
 コース数=193
 最長コース=6.4km リフト総数=34基



雪質、コース、ロケーションなど、どれをとっても満足できるだろう。ちなみに、各コースの案内板に付いている赤いプレートはグルーミング済みのサイン

- 1 / ブルースカイベースの山頂レストラン。カントリー風の演出
- 2 / スキースクールに日本人スタッフも常駐
- 3 / ふたつのベースエリアとリゾートタウンを巡回するシャトルバス



VAIL 世界の手本となった
 最先端リゾート

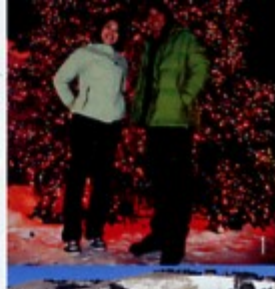
ヴェイル Vail

Vail Mountain P.O.Box 7 Vail, CO 81658
 vail.com/

全米のスキーリゾートのなかで、随一のステイタスと規模を誇る山岳リゾート、それがヴェイルである。ゆったりとしたコースレイアウト、高級ブランドが建ち並ぶショッピングタウン、戦略的なゴルフ場、利便性の高い分譲地、すべてが価値を高めるために設計され、機能的かつ景観を損なわないように工夫して造られている。

ヴェイルに一度足を踏み入れると、コロラドの豊かな自然環境とアメリカらしいダイナミックな発想に圧倒されてしまう。つねに新しいイベントや商品が用意され、冬はもちろんのこと、四季を通じて訪れる人が絶えることがない。

ヴェイルのスキーコースは徹底的に圧雪が施されており、ヴィレッジから見えるフロントサイドのグルーミングされた林間コースは、まさにゴージャス。延々と続くハードバックコースを滑れば、日本では味わったことのないスキーを知るに違いない。もしも降雪があったときにはファットスキーを借りて迷わずバックボウルズへ行こう。ヘリスキーでもしなければ楽しめないような斜面がどろんと待ちかまえている。こちらはフロントサイドエリアのほぼ倍の広さで、87%が上級者コースとされるが、ヴェイル本来の楽しさを知るためにもぜひチャレンジしてほしい。存分に滑ったあとは、メルヘンチックなヴィレッジのレストランでゆったりとアフタースキーが楽しめる。



1/ビーバークリークヴィレッジ前のメインエリア
中庭のロジ 2/ホテルの無料サービスでマシュ
マロ&チョコレートを楽しむ 3/ローズボウルリ
フト沿いのコブ斜面は名物コースのひとつ

1/夜はイルミネーションでヴィ
レッジのムードを演出 2/ヴィ
レッジ内はシャトルバスで移動でき
るが、朝の雪囲気を楽しみながら歩
いてグレンデへ行くのもいいだろう
3&4/ヴィレッジの中心にレスト
ランが集まっており、ここは一番人
気のイタリアンレストラン。ほかには
リーズナブルなビザハウスなども



1/落ち着いた静かな時が流れるホテルのラウンジ 2
/食事前のアウトースキーをライブで楽しむ 3/高級
なコンドミニアムが建ち並ぶ 4/ワールドカップも開催
されるだけあり、グルーミングバーはとてきれいな

MOUNTAIN FACTS

シーズン=11月下旬~4月中旬
平均積雪=7.8m
山頂標高=3,752m
ベース標高=2,427m
初級=31%、中級=35%、上級=34%

コース数=162
最長コース=4.4km
リフト総数=16基



夢を実現した究極のステイタス

BEAVERCREEK

ビーバークリーク

Beaver Creek Resort
P.O.Box 915 Avon, CO 81620
Beavercreek.com



ヴェイルの開発が進み、リゾートが巨体化する一方で、よりパーソナルで、より高級な山岳リゾートの開発が推し進められてきた。それが姉妹リゾート、ビーバークリークである。ホテルの外観、景観に徹底的にこだわり、最高のサービスを提供するのが、このリゾートのコンセプト。リゾートタウンはロマンチックなイルミネーションとさまざまなモニュメントで飾られ、ワールドカップや音楽祭などのイベントを誘致してその価値を高めてきた。開発当初はいくつかの一流ホテルが並ぶごちんまりとした雪囲気だったが、現在は隣接するパチエラウチマウンテンの開発が進み、スキーイン、スキーアウトを実現した巨大な別荘地と、新たなヴィレッジが完成しつつある。リッツカールトンやパークハイアットといった一流ホテルが名を連ね、この地の価値をさらに高めている。

アメリカのスキー場開発は、そのまま不動産産業と結びついており、リフト券単体での収支で成り立っているわけではない。それにしても、その豪快なまでの開発魂と、それに追隨する豊かな購買層の存在には唖然とさせられる。コースはどのレベルのスキーヤーでも安心して楽しむことのできるレイアウトで、混雑が少なく、よりリッチな大人のリゾートライフを楽しむことができる。世界から注目を集めるビーバークリーク、ぜひ訪れてみてほしい。



アスペンハイランド山頂。周辺の美しい山々からなるロケーションが最高



- 1 / ベースとなるアスペンの街は上品という言葉がマッチする
- 2 / カウボーイスピリッツも息づく歴史ある街でもある
- 3 / 周囲の風景とマッチするように作られているハイランドのセンターハウス
- 4 / 暖炉は身体も心も温まる

MOUNTAIN FACTS (MOUNTAIN)

シーズン=11月下旬~4月中旬
 平均積雪=7.6m
 山頂標高=3,677m
 ベース標高=2,605m
 初級=0%、中級=48%、
 上級=52%
 コース数=76
 最長コース=4.8km
 リフト総数=8基

MOUNTAIN FACTS (HIGHLANDS)

シーズン=12月初旬~4月初旬
 平均積雪=7.6m
 山頂標高=3,829m
 ベース標高=2,637m
 初級=18%、中級=30%、
 上級=52%
 コース数=131
 最長コース=5.6km
 リフト総数=5基



街の目の前に位置するのがアスペンマウンテン。中腹あたりからアスペンの街が見下ろせるようになり、きれいな街並みを楽しみながら滑り降りることができる

ASPEN SNOWMASS.
 WWW.ASPENSNOWMASS.COM

ASPEN
 心と身体が喜ぶ
 歴史あるスキーリゾート

MOUNTAIN & HIGHLANDS

アスペン(マウンテン&ハイランド)

PO Box 1248 Aspen, CO 81612
Aspensnowmass.com

アメリカはもちろん、世界中のスキーヤーたちのあこがれの山岳リゾートのひとつであるアスペン。アスペンマウンテン、アスペンハイランド、バタールミル、そしてスノーマスの4つのスキーエリアから構成されている。

アスペンマウンテンは、アルペンスキー・ワールドカップの舞台にもなるだけあり、中急斜面を中心とする滑り応え充分のコースレイアウトが特徴。通常の営業時間よりも前にゴンドラに乗ることができる人数限定のスペシャルサービス「ファーストトラック」を利用すれば、シュプールのないきれいなバーンを滑る楽しさと、滑り降りていく先に誰もいないそのロケーションを満喫することができる。アルペンレーサー気取りで飛ばしていくとすぐに太ももがばんばんになり、休憩をしている間に仲間と離れるとちょっと心細くなるが、このファーストトラックは体験の価値ありである。

もし降雪後の朝だったら、ファーストトラック後にアスペンハイランドに移動するのもいいだろう。めざすはハイランドピークから広がるバックボウル。ボウルの入り口までは雪上車で運んでくれるものの、そこからはハイクアップが必要。だが、山頂まで行かなくても、シュプールのないところを見つけて滑り降りるだけでも十分な滑走距離になり、日本ではなかなか体験できない距離の深雪滑走を楽しむことができる。

MOUNTAIN FACTS



シーズン=11月下旬~4月中旬
 平均積雪=7.6m
 山頂標高=4,103m
 ベース標高=2,658m
 初級=6%、中級=50%、上級=44%
 コース数=88
 最長コース=8.4km
 リフト総数=22基

アスペンの街中から出るシャトルバスは本数も多く、行き先もわかりやすいので英語が苦手でも利用しやすい

新風を吹き込む注目のエリア

SNOWMASS

スノーマス

ASPEN SNOWMASS.
WWW.ASPENSNOWMASS.COM

アスペン&スノーマスのゲレンデ内のレストランは、味もサービスもしっかりしていて、高級リゾートの心地よさを感じた



スノーマスのベースとなるスキーセンター周辺は、クリーム色を基調とした明るい雪国気になっている。この周辺にはコンドミニアムが多数あり、アスペンの街並みとは違ったリゾートタウンを形成している

4つのスキー場はバスステーションから発着するシャトルバスで結ばれており、街から一番離れているのがスノーマス。ここは、現在どんどん開発が進んでいるエリアで、昨シーズン、託児と教育の機能を持つ「ツリーハウスキッズアドベンチャーセンター」が新設され、話題を集めている。エリア全体の構成は、志賀高原エリアがひとつのスキー場になっているような感じ。88のコースは4つのリフト山頂駅からレイアウトされ、どこも光に溢れて、開放的である。たくさんさんのコースのどこを滑ったらいのか迷ったら、ひとまず山頂へ行こう。富士山を越えた標高4103mの山頂からは、地球の丸さを感じ取れるような大パノラマが広がる。そこからは中急斜面を中心としたロングコースが続く。トレイルマップ(ゲレンデマップ)をよく見て目標を定めておかないと、目的の場所に着くために何本も余分に滑ることになってしまいが、広大なエリアには少なすぎるくらいはスキーヤーじゃないので、ストレスなくスキーを楽しむことができることはまちがいない。

右/スキー場上部は晴天でもなかなか雪質は悪くならず、好条件でスキーを楽しむことができる
 中央/スキー場のベースへと向かう緩斜面。一度山頂に上がれば、ここまで滑り降りてくるだけで身体はもう満足しているはず
 左/スキー場中腹のレストランとはいえ、標高は3000mを超えている

左/各コースそれぞれに個性が豊かで、満足度は高い
 右上/コース状況がわかるサインボードはかならずチェック
 右中/無料のドリンクサービス。標高が高いのでこまめに水分補給を
 右下/山頂のオープンバーン。ここからの景色は最高





ブリッケンリッジのラージパーク。15m以上のキッカーが並び、世界のトップ選手も集まる。ツバを飲み込むようなドキドキがある

上/街からゴンドラで15分でピーク8に到着
下/毎日整備が入りクオリティの高いハーフパイプ

クリスマスとお正月はリフトも大混雑。並んでいるのはスキーヤーが多い!



フリースキー競技で活躍する原麻衣子と寺田シュリが、07/08のシーズンインを、整ったトレーニング環境を持つブリッケンリッジで迎えた。モーターに仲間と滞在し、アメリカン・ライフを堪能した充実した日々。

REPORT

トレーニングで長期にわたって街に暮らしたふたりのガールズ・スキーヤーが案内します!

楽しみ方 ブリッケンリッジの

BRECKENRIDGE
SKI RESORT
BRECKENRIDGE
DIARY



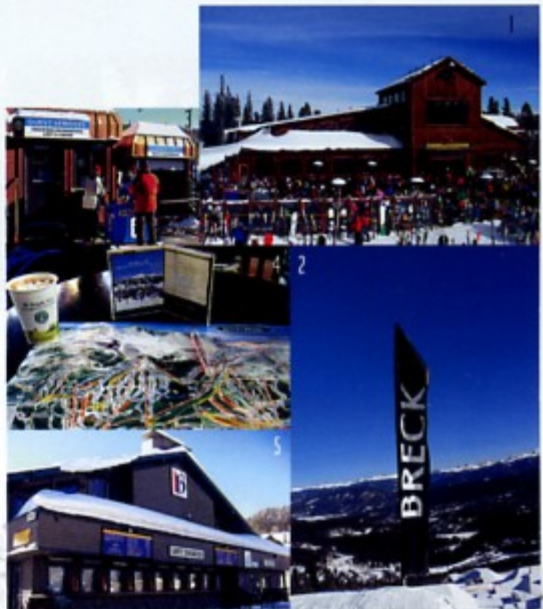
レポート&写真_原麻衣子、寺田シュリ
Report&Photo_Maiko HARA, Shuri TERADA

ルームシェアで長期滞在

デンバー空港から車で西に約2時間。ブリッケンリッジはピーク7、8、9、10と4つのゲレンデに大きく分かれ、上級者から初級者まで多くのスキーヤーが楽しめるスキー場です。世界各国から人々が集まり、仕事をリタイアした老夫婦や、家族連れ、パーク目当ての若者など、年代もさまざま。スノーボーダーよりもスキーヤーのほうが少し多いのが印象的! 日本ではまだ雪が少なく、パークには入れない時期でも、標高の高いこのパークは完璧に整備されています。ピーク9のオープン日は11月。パークやスキー好きの人たちはちょっと早いシーズンインを迎えます。12月になれば、ほかのゲレンデもオープンし始め、ハーフパイプも滑れるようになりま。日本のシーズンインよりもひと足先に、クオリティの高いパークで練習が

できるといっわけです。そんな環境に惹かれ、今回このレポートを担当する私たち、フリースキー競技者として活動している原麻衣子、寺田シュリは、仲間たちとモーターの部屋をシェアし、07/08シーズンインをここでスタートさせました。コアラドは、ブルジョアのイメージが強いかもしれませんが、スキー場までのバスは無料だし、モーターで自炊すれば安上がり。私たちのようなお金のない世代でも工夫したいで充分にブリッケンリッジに長期滞在できるはず。仲間と一緒にアメリカン・ライフを楽しみながら、思う存分トレーニングに集中することができました!

- 1/西部劇に出てくるようなピーク9のレストラン
- 2/上級者のパークにはDVDでも馴染みの旗
- 3/いたるところにあるゲストサービスや案内所
- 4/コースは、どこを滑るか迷うほど
- 5/チケットを買って、ゲレンデへGo!



完全保存版 海外雪山リゾート&スキー情報誌

世界のラグジュアリースキーリゾート

絶景のスキーリゾートへ旅しよう

海外雪山リゾートガイドの完全保存版。雪と絶景に癒されるスキーリゾートでのヴァカンスの楽しみ方を、現地レポートにより紹介。
 グレンデスキー、ヘリススキー、バックカントリースキーまであらゆるスキーリゾートが登場。
 【フランス】シャモニー/メジエール 【スイス】ダボス/クリンデルワルト/ツェルマット/オートルート 【イタリア】ドロンニョ
 【オーストリア】サンアントン/レッチ/サンクルストフ/チロル 【カナダ】ウィスラー&バニフ/スキーコートッジ 【アメリカ】グ
 エイル/ヒバークリフ/スノーマス/アスペンマウンテン/アスペンハイランド/スチムボート/スノーバード/アルタ/ソリチュード/ブラ
 イトン/ほか 【アルゼンチン】フエノアイレス/バリローチェ/カタデルナス/チャベルコ/ラスレニナス 【チリ】サンティアゴ/バジエネバド
 【ニュージーランド】タウランガ/ロトルア/タウポ/ファカバト/ウナタ/トレブルクーン/カードローナ/コネット/ヒーク/リマーカ
 ル/ス/クインズタウン/ほか 【韓国】電平/ヨンピョンリゾート/現代屋手/ヒョンタインリゾート/泰山/チサンリゾート 【中国】万龍ス
 キー場/マンリョウスキー場 【ロシア】カムエハリスキー/ロスプロンティア/ヘリススキー/ソールド/モンテローザ/ツェルマット

A4判/226ページ/価格1,890円(税込)



お求めは全国書店または

www.skijournal.co.jp

スキージャーナル株式会社 〒160-0007 東京都新宿区西本町20
 TEL.03-3353-3051 FAX.03-3353-7852

出会いが待っている!
モーター・ライフ

朝食付き1泊約50~80ドル。各部屋にバス&トイレ。暖炉があるリビングはリラックススペース。私たちが宿泊したWayside Innはアットホームなモーター。夕方になると、リビングにスナックが置かれ、それを目当てに集まった宿泊客が談話を始めます。アメリカではX-ゲームが浸透しているため、私たちがフリースキーをしていると知ると、日本から来たプロスキーヤーだと噂になり、多くの人に話しかけられました。「君たちの滑りを見たいから、一緒に滑ろう」と、みんなでスキーにも行きました。大晦日にはモーター主催のカウントダウンパーティも開かれ、最高の思い出になりました。出会いと交流! これぞモーターの醍醐味!



Wayside INN
 165 Tiger Road (970)453-5540
<http://www.breckenridgewaysideinn.com/>

交通は便利な
シャトルバスで

デンバー空港とブリッケンリッジとの行き来は、マウンテンエクスプレスという有料バスで、片道2時間のドライブ(要事前予約)。料金は71ドルですが、アメリカでは、ドライバーへのチップはマナーです。グレンデまで行ったり、買い物をするには無料のバスが30分おきに出ているので便利。ブリッケンリッジの街や隣町まで行くことができます。街中の一区間は短いのので、歩いてOK! 運転手さんに「Thanks!」と言って、バスを降りるのが、マナーかな



何でも超特大な**ゲレ食**

5ドルのジュラシックドラムスティック(左)とスープブレッド(右)! ドラムスティックは男性でもひとつでおなか一杯になってしまう大きさ(下右の写真は寺田シュリの弟、キヨシ)。ゲレ食1食は約10ドル。お薦めはホットチョコレート!



BRECKENRIDGE DIARY

MaiMai's Diary ♥ 原麻衣子の日記

1月に開催されるUS OPENに参戦するために、2カ月前からブリッケンリッジを中心に練習していました。今まで、日本アシーズを開始していた私からすると、12月から完璧に整備されたパークで練習できたことは、とてもプラスだったし、世界のレベルと自分を比較できたことは、今までどおりに練習を進めていくところと、もっとプッシュして攻める練習をしていくところを感じる事ができました。そして、仲間との生活は、スキーに対してのモチベーションも高めてくれるし、日常の生活をとおして「助け合い」「協力し合って問題解決」ということを実感。知らない土地での仲間への存在は心強いものがありました。何より、みんなと一緒に食べるご飯。暖かくて、とても美味しいご飯の生活でした。今回のアメリカへ行くという選択は、仲間にも恵まれ、シーズンスタートには、最高の場所になりました。

Shuri's Diary ★ 寺田シュリの日記

コロラド州は平均標高が高く、ブリッケンリッジのハーフパイプも標高約3000mに位置しています。ハーフパイプが大好きな私は、毎日このパイプを滑ってはハイクし、また滑ってはハイクする。リフトに乗るよりもハイクするほうが身体も温まるし、ほかのスキーヤーを見て学ぶこともでき、ハイクしている同士で仲良くもなれるのです。それに、距離が長く、標高が高いために体力もつきます。X-ゲームが行なわれる1週間前は世界のトップスキーヤーがここに集結。なかでも王者と呼ばれるクナー・ホールは朝一番の硬いパイプを滑っていました。これでもか! と思えるほど、技の完成度を求め、黙々と練習する。雪上での王者の練習姿は私の心に響きました。私もこんなカッコイイスキーヤーになりたいと強く思いました。

TOWN GUIDE

美味しいもの&見どころいっぱい ブリッケンリッジ・タウンガイド

昔ゴールドラッシュに沸いた時代の建物が多いブリッケンリッジの街。半日あれば、街全体を探索できる。イタリア、日本、中華、アジアまで世界の料理が楽しめます!



原麻衣子
Maiko.Hara

2年前からフリースキー(スロープスタイル)の大会に参戦し、アメリカやスイスなどの世界大会をメインに活動。夏は室内ゲレンデでトレーニングと一般レッスンも行なう。07USオープン4位、08ニッポンオープン2位



寺田シュリ
Shuri.Terada

高校卒業後、カナダ・ウィスラーへ。フリースキーに惹かれ、夏はバイトとトレーニング。冬は海外や日本の大会に出場。フリースキーの楽しさ、魅力をもっと多くの人に伝えたい!!と活動中
www.shuriair.com

ブリッケンリッジのことならおまかせ 【スキーアメリカ】



冬はスキーガイド、夏はフィッシングのガイドもこなす代表の大森はじめさん、パートナーの良子さん、そして賢い犬の「ZEN」。スキーアメリカはコロラド州のフリスコにオフィスを置くスキー、スノーボード専門のトラベルコーディネーター。予算やニーズに合わせたツアーを提案し、現地に長年住んでいるからこそできるサービスやローカルだけが知っている情報を提供してくれます。私たちもおかげで充実した時間を過ごすことができました。まずはサイトで!

<http://www.goskiamerica.com>

SKI AMERICA

13 Hawn Drive
Post Office Box 1588
Frisco, Colorado 80443 USA
970-668-0331



⑥インフォメーションセンター
ブリッケンリッジの街の情報を、インフォメーションセンターでGETすれば、この街を2倍楽しめるはず



⑤クレープ アラカルト
Crepes a la cart
フルーツにケーキに生クリーム!! トッピングが豊富で迷ってしまうクレープ屋さん!



④モール
メインストリートにいくつかあるショッピングモール。街は半日あれば歩いて見られますが、横道にもたくさんお店がある!



③クリスティスポーツ Christy Sports
品数が多く、チューンナップ、修理もOK! スキー道具にトラブルが出たら、ここに駆け込んでおきましょう!



②コールドストーン ColdStone
505 S.Main Street
970-453-1759
アイスとドライフルーツなどを冷たい石の上で混ぜて作る絶品アイス



①カフェデポ Caffe Depot
買い物の休憩は、カフェでコーヒーとマフィンで。街歩きを兼ねながらゆっくりとした時間が過ごせます



⑫シティマーケット City Market
買い出しはこのマーケットで。日本食もあります。めずらしいものも多くて、見ているだけでも楽しいよ



⑪レッドオーキッド Red Orchid
206 N.Main St.
970-453-1881
ランチは中華食べ放題。フルーツや巻き寿司もあり種類豊富。心もお腹も満足



⑩ジャンピエトロ Giampietro
NE Corner of Lincoln&Main
970-453-3838
オススメのイタリアン。1人前は日本の1.5倍! サンドイッチはフランスパン1個分!



⑨デンザエモン Denzaemon
216 S.Main
970-453-9809
ヌードル&丼の専門店。滞在中、日本食が恋しくなったらここへ!



⑧エリックズ Eric's
www.downstairsaterics.com
ご飯も美味しいスポーツバー。スポーツ観戦しながら生の熱狂と一緒に体感しよう!!



⑦スターバックス Starbucks
ブリッケンリッジのスターバックスは、黄色い小屋! いつもと違ったスターバでホットするのはいかが?



⑬ジム
ウェイトマシンからプール、ロッククライミング、リハビリ・フィジオルームなどがそろそろ。標高が高いので、すぐに息が上がります!



⑮ゲストサービス Guest Service
山の地図、エナジーバー、のど飴を無料で配っています。心優しいサービスです!

BRECKENRIDGE COLORADO



⑭リフトチケット売り場
シーズン券も1日券も連日券もここで購入して山に上がりました



⑯ミズッパ Mizuppa
スープ&パンのお店。ミネストローネなどの定番から原麻衣子お気に入りのココナッツカレースープまで! パンが選べて8ドルくらい

